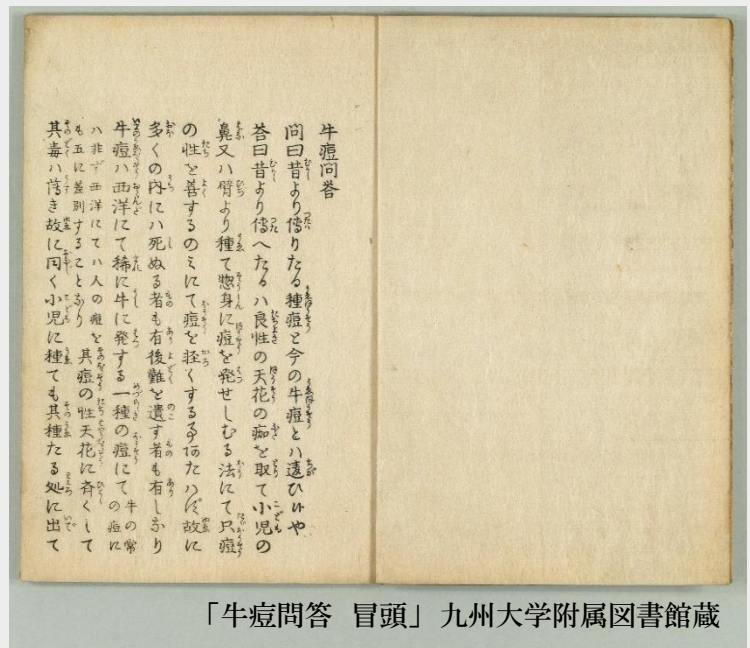


越前の種痘

—笠原良策からの伝播と
その担い手たち—



「牛痘問答 冒頭」九州大学附属図書館蔵



「広瀬元恭『新訂牛痘奇法』」京都大学附属図書館蔵

申込不要
入場無料

2025 年
11 月 15 日(土)
13:30~15:00

天然痘の予防接種である種痘は、福井藩の町医笠原良策（白翁）が子どもから子どもへ植え継いで、厳寒の栃ノ木峠を越えて城下にもたらしたことは、吉村昭『雪の花』や同名の映画で描かれ、よく知られています。

種痘がなかなか広がらず苦心していた鯖江藩医は、「福井や丸岡、大野などでも藩が厚く心配くださっているとのこと」と丸岡藩で種痘が進展していたと記していました。現在のところ、これを裏付ける資料はみつかっていないのですが、ここでは三国を含む越前での種痘の広がりとその担い手について、資料をもとに考えます。

会場：高棕コミュニティセンター たかむく古城ホール
講師：柳沢芙美子 氏（前福井県文書館副館長）

主催：坂井市成人大学・坂井市丸岡図書館 問い合わせ先：0776-67-1500 (TEL)
：0776-67-1501 (FAX)

小葉田淳記念文庫について

明治38年（1905年）福井県丸岡町本町3丁目に生まれる。

小葉田淳は、貨幣史、鉱山史、外交貿易、交通史の分野で、実証主義的な研究を積み上げその業績は海外でも高く評価されている。

福井県史を監修するなど郷土史編纂にも大きく貢献した。

平成8年（1996年）国の文化功労者に選任される。

平成12年（2000年）丸岡町名誉町民に推挙される。

平成13年（2001年）急性循環器不全のため死去。

享年96歳。

平成16年（2004年）丸岡町民図書館に、生前より寄贈された蔵書を収蔵した「小葉田淳記念文庫」が開館。著書や歴史、沖縄関係資料など約20,000点を収蔵している。



小葉田 淳

（1905年～2001年）

—小葉田淳の業績を記念して、歴史講演会を開催します—

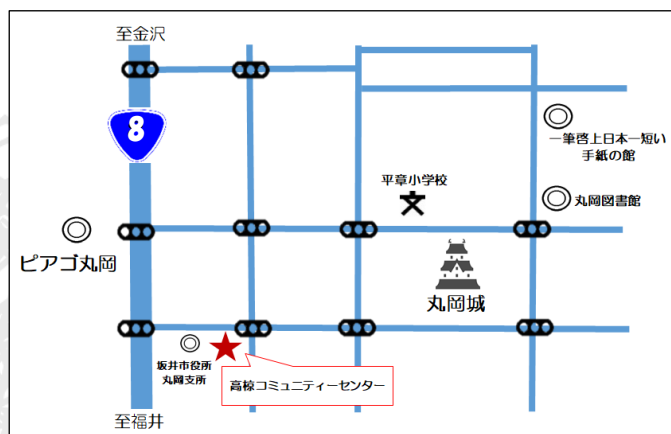
講演会
講師

柳沢 芙美子 氏

（前福井県文書館副館長）

埼玉県生まれ

県文書館が刊行している資料叢書（藩士履歴）から多くの藩医や役人が種痘に関わっていたことを知り、2019年から24年まで福井藩・鯖江藩・大野藩の種痘の展開について同館研究紀要に論文等を書きました。ほかに「福井藩・鯖江藩の種痘と村部への出張種痘」（青木歳幸、W・ミヒエル編『天然痘との闘いⅢ中部日本の種痘』岩田書院、2022年）を執筆



講演会場

高棕コミュニティセンター 4F
たかむく古城ホール

坂井市丸岡町西里丸岡12-21-1
（坂井市丸岡支所に併設）

- ・ 京福バス 丸岡バスターミナルより徒歩1分
- ・ 会場 高棕コミュニティセンターに駐車場あり。